

環境芸術学会 2025年度オンライン大会 タイムテーブル

9:50～10:00				開会の辞(ルーム移動レク、諸注意など)			
ルーム①				ルーム②			
時間	発表者	共同研究者	研究題目	発表者	共同研究者	研究題目	
11 10:00～10:20	長谷海平(関西大学)	矢崎俊志	環境の変化に伴うVR作品の展示再構成:同一作品展示の国内外比較研究	1 佐藤佳奈(新潟大学大学院)	加藤七菜	地域アートプロジェクトにおける制作とワークショップ運営の実践報告	
12 10:22～10:42	大越円香(名古屋大学大学院)	秋庭史典	メディアアートの〈記録性〉を問う:展覧会《hyperLOG》のキュレトリアル実践報告	2 津田和輝(新潟大学大学院)		手の立体造形表現:職人の手と鉄の端材による構成	
13 10:44～11:04	中山夢音(東京藝術大学大学院)		アーティスト・イン・レジデンスを自身の作品研究の場として:3ヶ国での実践報告	3 五十嵐彩斗(新潟大学大学院)	三村友子、株式会社アイチ金属	砂と砂鉄を用いた波の表現	
14 11:06～11:26	川島洋一(福井工業大学)		新しい時間意識と複数の自分	4 三富慧(新潟大学大学院)	三村友子	「身近な事象の魅力の再発見」をテーマとした立体造形作品の制作:Arduinoによる光制御と、汎用的なフォトグラメトリおよび3Dプリント技術を用いて	
15 11:28～11:48	陳干(東京藝術大学)		インスタレーション作品『どうしよう!』における情動触発の運動設計:運動再現の正確性から観客知覚に基づく調整へ	5 桐越健祐(新潟大学大学院)	三村友子、株式会社アイチ金属	砂鉄を用いた背もたれのデザイン研究と椅子の制作	
16 11:50～12:10	越後正志(神山まるごと高専)	James Jack, Zhai Qiutong, Chan Yi Qian	The Termites:シロアリたち:Artistic Engagements with Symbiotic Ecologies in Shodoshima:小豆島における共生関係の芸術的関与	6 光延咲良(長岡造形大学)		鍛金技法によるうつわ制作:《むしくい》	
12:10～13:10				昼休憩			
17 13:10～13:30	東方悠平(宇都宮大学)		ZINE制作を通じた地域理解学習の実践:八戸・喫茶へばなを題材としたフィールドワーク型授業試行	7 三村友子(新潟大学)	五十嵐彩斗、桐越健祐、株式会社アイチ金属、若林悦子	河川・海岸における砂鉄の採取及び作品への展開	
18 13:32～13:52	藤沢礼央(札幌市立大学)		制度と子どもに挟まれた持続的リミナル空間の考察:苫小牧市美術博物館子ども広報部びとこまの事例	8 宮本一行(札幌大谷大学)		Virtual Soundwalk Mikata:XR体験から生まれる音環境への新たな気づき	
19 13:54～14:14	下山肇(実践女子大学)	轟颯馬、駒山真美	AR(拡張現実)アートのSTEAM教育における活用について: — 高校美術 I から総合的な探究の時間・地域エンゲージメントへ —	9 大森正夫(京都芸術大学)		清水寺の絶景に潜むダイナミックプロポーション:京都の空間表現手法に関する研究(1)	
20 14:16～14:36	岡薫(東京農工大学)		アートプロジェクトから地域社会の内発的発展を問い直す	10 田中ゆり(京都市立芸術大学)		日本の美意識と素粒子物理の交わり:一学際協働による対話と体験のデザインを通じて	
14:40～15:00				閉会の辞:「学生優秀プレゼンテーション賞」発表			

 学生部門発表者
 一般会員発表者